

単元名：おもしろ段ボールボックス

「自分だけの入れ物をつくろう」

(全 4 時間扱い中 第 1 時)

授業日時 2021 年 11 月 9 日 (火) 第 5 校時

授業学級 4 年東組

授業会場 4 年東組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

自分だけの入れ物をつくる場面で、使い方に合わせた段ボールの切り方を考えることを通して、段ボールの形を生かしながら、用途や表したいこと、それに合わせた段ボールの切り方を考えることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導 入	1. モデルを基に考えを膨らませる	「もっと凝ったデザインにしたい」 「引き出しをつけたい」 「段ボールを斜めに切りたい」	※授業が始まる前に教科書を準備してもらう ※「おもしろダンボールボックス」 黒板に単元名を書く ※モデルの提示を行う ※段ボールの切り方(形)や機能、用途に触れる 「みんなだったらどうしたい？」 「○○さんはこういうことができそうだって」 ※アイデアを考えてもらう 「では自分だけの入れ物をつくってみましょう」 ※学習問題を黒板に書く	10 分
	【学習問題】自分だけの入れ物をつくろう			
	2. 切り方の例の確認	「こんな切り方もできるんだ」	※モデルの提示の際に出た意見で、切り方に着目した意見に焦点を当てて、様々な切り方ができることを教科書 28 ページを見ながら確認する ※用途に合わせて切り方を考えることを伝える ※白紙を配り、用途や使う場所を書いてもらう つくる際に白紙に切り方や表したいこと、設計図などを書いてよいということを伝える	
	【学習課題】使い方に合わせた段ボールの切り方を考えよう			

